

令和5年度指導教諭による「授業力アップ講座」③④

本年度も指導教諭の優れた授業及び解説・講話、実技講習指導等を広く公開し、授業改善、指導力向上等を図る講座を開設しました。今号では、2つの授業力アップ講座を紹介します。

9月25日(月) 一関市立一関小学校

第4学年 算数「がい数の使い方と表し方」

授業者 須藤 直子 先生

10月2日(月) 平泉町立平泉中学校

第2学年 国語「伝統文化を味わう」

授業者 今野 満江 先生

提案授業

前時までの児童の振り返りの記述を導入で扱うことで、がい数を日常生活で用いることに視点をもたせ、本時の学習への方向付けを行いました。



自力解決の場面では、「実際の商と見積りの大きさがあまり変わらないことを確認する」という目的を明確にすることで、見積りの便利さについて進んで学びを深めようとする様子が見られました。

学習内容の習熟を図る場面においては、「教えの旅」として、児童が自由に場所を移動しながら教え合えるようにすることで、自分の考えを説明する力を意図的に付ける工夫を行っていました。

研究協議

参観した先生方からは、子どもに資質・能力をしっかり身に付けるため、振り返りを大切にしたいという話題が多く挙げられました。諸調査の問題を、授業の適用問題や評価問題に取り入れたり、身近な生活経験を算数の学びとつなげたりすることの大切さを共有しました。

提案授業

「登場人物になりきって心情を語り、『平家物語』の魅力について伝え合うこと」が、本教材の言語活動でした。



前半は、新たな魅力を加えるために、武士として生きることをテーマにグループ対話を行いました。主従関係と本心で揺れる葛藤や無常観について深く考え、言語化する生徒の姿が見られました。



後半は、Yチャート(上図)にまとめた「平家物語」の魅力に順位付けを行い、登場人物や無常観など、自己決定したテーマに沿って、タブレットに文章を打ち込みました。

研究協議

主体となる学習者と見通し・振り返りを共有した「学習の道しるべ」や対話の質を高めるための「話し合いの技」、国語科におけるICTの効果的活用など、手立てについて協議を行いました。書く活動における修正の便利さ(ICTのよさ)も話題になりました。

👉 須藤先生の授業から学ぶ

算数の授業のポイント!

- ◆振り返りの「見える化」
- ◆諸調査の結果、問題の活用
- ◆協働的な学びのよさを生かす「相談タイム」「教えの旅」



👉 今野先生の授業から学ぶ

国語の授業のポイント!

- ◆「見通し・振り返り」を学習者と共有
- ◆毎時間の予習と授業との連動
- ◆国語科における効果的なICTの活用(整理・まとめ)

参加者の声(一部抜粋)

- ・「振り返り」を指導に生かすよさを感じられる授業でした。児童が分からないところをみんなで話し合い、解決する学び合いの仕方を参考にしたいと思いました。
- ・授業者の日常的な温かく前向きな言葉がけによって、どの児童も安心して学んでいる姿が印象的でした。子どもたちが「楽しかった」と感じられるような授業づくりを私もがんばります。

参加者の声(一部抜粋)

- ・生徒が主体となって学習を作り上げていく過程において、ICT(ロイロノート)の活用が有効に働いていました。ICTの活用により、国語の授業は、特に大きな変化を求められていると感じます。教師が活用法を身に付けることも重要であると感じます。
- ・「見通し・評価」を生徒と共有し、自らの判断で学習を調整できる余白を残しておくことが大切だと感じました。